

ライフスタイル研究
シルバー世代の環境とライフスタイル
— シルバーマーケットを展望する —

テーマ1 高齢化社会の実状把握

目的

- ・高齢化社会とひとりに言っても、各界の専門分野や社会的問題として語られることはあっても、生活者側の定義は明確になっていない。
シルバー世代の生活者側から見た時の視点（切り口）と問題点を抽出し、解決の方向性を探る。

実施

活動内容

■デスクリサーチ

①既存資料の収集

- ex) ・貴社提供情報をベースに下記方法により、情報収集の補完作業を行う
 - ・データバンク（MDB）より収集
 - ・関連企業、団体の抽出→発行資料の収集
 - ・既存発行文献より抽出
 - ・公民間各種調整資料より抽出

②資料収集のまとめ・整理

- ex) ・シルバー世代の機能年齢と暦年の捉え方
- ・シルバー世代の“生きがい”研究
（シルバー世代を取り巻く環境と生活者意識）
- ・シルバー世代の肉体的問題と解決策の現状
- ・シルバー世代からみた家族 など

* 貴社提供情報のオリエンテーション後、分類整理の方向性を提案することも可能

テーマ2 シルバーのライフスタイル事例研究

目的

- ・シルバー世代に対する調査のほとんどは、69歳までの実態である。実際の高齢者に対する実状が、十分に把握できているとは言えない。
シルバー世代を「ジュニアシルバー（65～74歳）」と「シニアシルバー（75歳～）」の2世代で捉え、生活の実状がどう異なるのか、年代・性格・家族構成などを軸に定期的に把握する。
シルバー日常生活から見た、家電開発の新たな方向性を探る。

実施

活動内容

■シルバーモニターによるライフスタイル調査

①モニター抽出

- ・65～74歳／男・女計5名
ex. 夫婦2組(4) 単身(1)
- ・75歳以上／男・女計5名
ex. 夫婦1組(2) 単身(3)

×

- ・老夫婦（2世帯含む）
- ・子供世帯同居（3世帯含む）
（男女別）

②訪問実態調査（調査票据置による追跡調査）

訪問により、生活実態、関心事、性などを把握する。
（対本人・家族に対する訪問インタビュー）

1週間の行動把握（状況により本人／または家族によるレポートイング）

③調査結果・分析・まとめ

項目別分析／パーソナルデータのまとめ

テーマ3 シルバーマーケットを考える

目的

- ・「テーマ1」既存データからの考察、および「テーマ2」の定性調査による生活者スタイルの考察より、シルバーマーケットの広がりを考える。

企画

企画内容

商品開発の方向性

- ① 現行の家電製品の 카테고리で広がりを考える
- ② シルバーの生活実態から新しい切り口を創出し、既存にないニューコンセプト商品の開発
- ③ シルバーの肉体的介護を目的とした商品

ターゲットの実状 (裏付け)

ジュニアシルバー
シニアシルバー

×

ライフスタイル
シンクスタイル

高齢化社会の実状把握

シルバーのライフスタイル事例研究

連動

ターゲットからみた
商品開発コンセプト
のご提案

- 上記チャートに基づき、シルバーマーケットを考えた商品開発コンセプト案を、具体化して企画する。
基本的には、企画書としてまとめるが、よりわかりやすく表現するためにビジュアル化することも可能。

研究活動スケジュールおよび費用の概算

■ スケジュール

	デスクリサーチ	ライフスタイル調査	提 案
7/20	・資料収集補完作業 & オリエンテーション	・モニターリクルート 調査企画	
7/末		・訪問調査および 追跡ライフスタイル 実態調査	
8/10	・収集資料の分析 まとめ		
8/20	現状把握	・まとめ 分析作業	・コンセプト開発企画 作業
8/末		ライフスタイル 事例研究報告	
9/10			コンセプト開発提案

■ 費用概算

1. 高齢化社会の実状把握	45万
①既存資料収集補完作業	45万
②収集資料のまとめ整理	13万
③進行ディレクション費 (①+②の15%)	13万
小 計		98万円
2. シルバーのライフスタイル事例研究		
①調査企画費 (調査票作成含む)	20万
②モニター抽出費 @10,000×10名	10万
③訪問実態調査		
・実査	50万
・謝礼および通信費など @20,000×10名	20万
④モニターコンタクト人件費	10万
⑤報告書作成費		
・モニター個別報告書 @35,000×10名	35万
・分析報告書	50万
⑥進行ディレクション費 (①~⑤の15%)	29万
小 計		224万円
3. シルバーマーケットを考える		
● コンセプト開発提案	50万
合 計		360万円

* 別途消費税を申し受けます